

名張市立蔵持小学校の児童が

『県道上野名張線の道路整備工事』の現場を見学しました。

令和5年2月7日（火）に『主要地方道上野名張線（仮称蔵持橋）橋梁下部工工事』の現場において、三重県建設業協会伊賀支部と三重県伊賀建設事務所が共催で現場見学会を行い、名張市立蔵持小学校の児童3年生約30名が参加しました。

現場では、実際に工事で使用する建設機械への乗車を行いました。また、ドローンを使った最新の技術説明では興味深く聞き入っていました。

【主催者のあいさつ】



—三重県建設業協会伊賀支部長—



—三重県伊賀建設事務所長—

【担当者からの工事説明】



—工事現場の説明を聞く児童—



—説明の中でクイズに答える児童—

【建設機械への乗車体験】

- 施工現場で実際に使用されている機械に乗車体験しました。



ー緊張しながらの乗車体験ー



ー機械の説明を受ける児童ー

【ドローンの説明】

- ドローンの操作方法や利用方法についての説明を聞きました。



ードローンの説明を聞く様子ー



ードローンからみた児童ー

～ 児童の感想 ～

- 橋台がおおきいなあと思いました。
- 橋台の重さがゾウさん 300 頭分と分かってびっくりしました。
- 前から何を作っているのか分からなかったけど、今日、橋を作っていると知れて良かった。
- 作っている姿がかっこ良かった。